

土浦市と土浦ケーブルテレビ株式会社 「災害時における職員及び車両等の 提供に関する協定」を締結

～発災時の情報連携に加え、人的・物的支援を強化～



<写真：土浦市 中川清 市長とJ:COM 茨城 代表取締役社長 橋本祐一 >

土浦ケーブルテレビ株式会社(J:COM 茨城 所在地:茨城県土浦市真鍋、代表取締役社長:橋本 祐一)と土浦市(茨城県土浦市、市長:中川 清)は2019年8月2日(金)、台風や地震などの災害発生時における協力、支援のため「災害時における職員及び車両等の提供に関する協定に関する協定」を締結いたしました。

J:COM 茨城は、2008年に土浦市と締結した「災害情報の放送に関する協定」に基づき、発災時の市民に対する災害情報の放送等について協力体制を構築してきました。

今回の協定は、この情報連携に加えて、発災時に土浦市が行う災害対策に人的(従業員)・物的(保有する車両及び物資等)両面で支援協力する内容を取り決めたものです。

J:COM 茨城は、地域に密着した企業として、コミュニティチャンネル「J:COM チャンネル」や地域情報アプリ「ど・ろーかる」を通じて、地域の皆さまの生活に役立つ情報を提供するとともに、発災時には防災情報の放送、人的・物的な応急的支援を行うなど、これからも安全・安心なまちづくりに貢献していきます。

「J:COM チャンネル」について

「J:COM チャンネル」は、地域のイベントや行政情報、安全・安心に役立つ防災情報など地域に根差したコンテンツ満載のオリジナルチャンネルです。地域のニュース番組『デイリーニュース』を通じて行政の動きや街の出来事を取り上げ、地域の今を伝えます。また台風や地震などの災害時には地域に必要な情報を即座に発信します。その他、地域で活躍する人にスポットを当てた『ご当地人図鑑』や、地域イベント・スポーツ大会の生中継など徹底的に地域にこだわったチャンネルです。

●チャンネル番号(全て地上デジタル):札幌・仙台・関東・関西・九州エリア:11ch、下関エリア:12ch、熊本エリア:10ch

地域情報アプリ「ど・ろーかる」について

「ど・ろーかる」は、地域の“今”をお届けする全く新しい地域情報アプリです。コミュニティチャンネルで放送している地域のニュースや、特別番組をライブ配信しますので、外出先からでもスマホやタブレットでお住まいの地域のニュースが視聴できます。また札幌の方が福岡の番組を見られるなど、お住まいのエリアに限らず J:COM 全サービスエリアの番組をお楽しみいただくことができます。

土浦ケーブルテレビ株式会社について <http://www.jcom.co.jp>

土浦ケーブルテレビ株式会社(J:COM 茨城、本社:茨城県土浦市、代表取締役社長:橋本祐一)は、茨城県土浦市、牛久市、龍ヶ崎市、かすみがうら市、取手市、守谷市、石岡市、つくば市、つくばみらい市、常総市、阿見町、利根町、美浦村内において、ケーブルテレビ、高速インターネット接続、固定電話、電力、モバイル等を提供しているケーブルテレビ運営会社です。株式会社ジュビターテレコム(J:COM)のグループ局として、先進性のある高品質な情報・エンターテインメントの提供を通じ、地域社会の発展に寄与することを目指しています。